# 横田基地、クリスマス・ドロップ作戦に参加

*Yokota participates in Operation Christmas Drop*

December 8, 2016

By Senior Airman Delano Scott and Senior Airman Elizabeth Baker
374th Airlift Wing Public Affairs

（写真1）12月6日、クリスマス・ドロップ作戦2016のため、グアムのアンダーセン空軍基地の滑走路に駐機中のC-130ハーキュリーズ。

1952年に始まったクリスマス・ドロップ作戦は、世界で最も長く続けられている空中投下ミッションで、今年で65年目を迎える。

1 (Photo by Senior Airman Delano Scott)

（写真2）12月5日、ミクロネシア諸島上空でクリスマス・ドロップ作戦中の飛行記録をつける第36空輸中隊C-130ハーキュリーズ・フライトエンジニアのエド・スポネンバーグ上級曹長。

クリスマス・ドロップ作戦は、在日米空軍横田基地第374空輸航空団が、航空自衛隊、オーストラリア空軍と共に、低コスト低高度空中投下の演習を行い、また連続的な航空機の機動/回収によって、戦闘即応力の維持と向上を図るトレーニング任務。

2 (Photo by Senior Airman Delano Scott)

（写真3）12月5日、ミクロネシア諸島上空でC-130Hの後方から物資を投下する第36空輸中隊ロードマスターのアンソニー・スクーフ上級空兵。

クリスマス・ドロップ作戦で行われた物資の投下は、米空軍、オーストラリア空軍、航空自衛隊が、寄付で集められた生活物資をミクロネシア諸島に届ける合同作戦。

3 (Photo by Senior Airman Elizabeth Baker)